

開講日	2009年8学期 火曜日 18:30-20:30	講義場所	研究棟11階講義室A	医	技	保
				●	●	●
コーディネーター	名古屋市立大学医学研究科 腫瘍・免疫内科学 病院准教授 中村 敦 名古屋市立大学看護学部 感染予防看護学 教授 矢野久子			※●:コア科目、○:選択科目		

科目概要 および 期待される 成果	【概要】有史以来感染症はヒトの病気の大部分を占め、医学・医療の歴史は感染症とともに歩んできた。しかし感染症の診断・治療・予防が飛躍的に進歩した今日においても、未だに発展途上国ではマラリア・結核・AIDS・腸管感染症などの問題がある。先進国では新興感染症・再興感染症に加え、多剤耐性菌の蔓延やバイオテロの脅威、高度医療の発達に伴う日和見感染の増加など様々な課題が山積している。医療に携わる関係者は常に最新の情報を含む感染症の知識を身につけ質の高い医療等を提供する必要がある。 【期待される成果】感染症の診断・治療・予防ならびに医療関連感染対策を習得することにより、適正な医療提供(個人防衛)、耐性菌防止や医療安全(集団防衛)、医療資源の有効利用(社会防衛)を目指す。
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
感染症概論	1	細菌感染症と抗菌化学療法	細菌感染症の現状と耐性菌の蔓延について概説し、これらに対するエビデンスに基づいた適切な抗菌薬選択について教授する。	8月4日	教授 長谷川 忠男 名古屋市立大学医学研究科 細菌学
	2	ウイルス感染症とワクチン予防	ウイルス感染症、特にウイルス肝炎を中心とする最新の話題について話題を提供し、予防医療としてのワクチン接種についても言及する。	8月11日	准教授 田中 靖人 名古屋市立大学医学研究科 臨床分子情報医学
	3	一類感染症と最近の動向	平成10年に制定された「感染症法」の中で最も危険度が高いものを「一類感染症」と呼ぶが、ほとんどが輸入感染症である。エボラ出血熱などのウイルス性出血熱やペストなど、国際空港を有する当地域で遭遇する危険のある一類感染症について最近の動向も交え紹介する。	8月18日	教授 岡本 尚 名古屋市立大学医学研究科 細胞分子生物学
市中感染症	4	呼吸器感染症の現状、治療と予防対策	感染症の代表である肺炎や古くて新しい疾患である結核、最近話題のインフルエンザや百日咳など呼吸器感染症の現状と治療について概説し、空気・飛沫感染対策も教授する。	8月25日	准教授 佐藤 滋樹 名古屋市立大学 医学研究科 腫瘍・免疫内科学
	5	消化器感染症の現状と対策、治療	昨今アウトブレイクが話題となっているノロウイルスや、最近では重症例、院内感染菌としても注目されている <i>Clostridium difficile</i> 感染症などの消化器感染症について紹介する。	9月1日	講師 加藤 秀章 名古屋市立大学 医学研究科 法医学
	6	小児感染症とワクチン接種による感染予防対策	主に発疹性ウイルス疾患などの小児感染症の現状について概説し、感染予防のためのワクチン接種についても言及する。	9月8日	助教 杉浦 時雄 名古屋市立大学 医学研究科 新生児・小児科学
	7	耳鼻科感染症の最新医療	中耳炎や副鼻腔炎などの頭頸部感染症に関する最新の情報を提供し、耐性菌を含む原因菌の治療について概説する。	9月15日	助教 中村 善久 名古屋市立大学 医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学
	8	周術期感染と感染防止対策	術後感染や創部感染などの周術期感染、感染防止のための手洗いや抗菌薬の予防投与に関する新しい考え方についてについて概説する。当大学病院で実施している術前のMRSA保菌スクリーニング調査についても紹介する。	9月29日	病院准教授 佐藤幹則 名古屋市立大学 診療・情報管理部 助教 小椋正道 名古屋市立大学 感染予防看護学
	9	歯科・口腔外科領域感染症と口腔ケア	近年注目されてきている歯周病などの菌性感染と誤嚥によるか気道感染の関連について解説し、口腔ケアについて歯科衛生士による実演も交えて紹介する。	10月6日	教授 横井 基夫 名古屋市立大学 医学研究科口腔外科学
	10	高齢者と施設内感染	疥癬やインフルエンザなど高齢者施設における施設内感染の実態を紹介し、これらの施設での感染予防対策について言及する。	10月13日	所長 鈴木 幹三 名古屋市緑保健所
院内感染対策	11	看護と予防対策	院内感染予防活動の一端を担う看護職が習得すべき感染予防に関する知識および院内感染対策/在宅感染対策を実例を挙げながら紹介する。	10月20日	教授 矢野 久子 名古屋市立大学 感染予防看護学
	12	院内感染対策システム	当大学病院で感染対策専任職を務める講師により、当院における院内感染対策のシステムや活動実態について紹介する。	10月27日	主査 長崎 由紀子 名古屋市立大学病院 感染制御室
	13	適切な検体採取と院内感染対策における検査室の役割	適正な診断を得るために心がけてほしい検体採取、提出方法を解説するとともに、院内感染防止に関わる検査室の役割について紹介する。	11月10日	技師長 脇本 幸夫 名古屋市立大学病院 中央臨床検査部
	14	院内感染予防に対する薬剤の適正使用	院内感染予防に対する消毒薬、抗菌薬の適正使用について解説し、当大学病院での取り組みについて紹介する。	11月17日	主査 鰐部 昌彦 名古屋市立大学病院 薬剤部
	15	感染症と予防の学び直し ― インタラクティブ方式を用いた講習と学習効果の評価 ―	リアルタイム双方向コミュニケーション型インタラクティブプレゼンテーションシステムを用いて参加型の感染症・感染予防講義を行なうとともに、本シリーズの一連の講演の学習効果を評価する。	11月24日	病院准教授 中村 敦 名古屋市立大学医学研究科 腫瘍・免疫内科学